

東北会病院新人看護師研修

～急変時の初期対応とフィジカルアセスメント～

7月29日と8月5日二日間にわたり、東北会病院新人看護師研修においてスキルスラボの施設をご利用いただきました。参加者は新人看護師17名で、講師はスキルスラボの須藤看護師が務めました。

研修内容は『心電図の読み方』『呼吸のアセスメント』『脳神経のアセスメント』『一次救命処置』『シナリオ実習』『静脈ラインの確保と筋肉注射』でした。

心電図の読み方では、フィジカルアセスメントモデル【フィジコ】を使用して正しい電極の位置を確認しました。呼吸のアセスメントについては、呼吸音聴診シミュレータ【ラング】を用いて正常な呼吸音と異常な呼吸音を聴き比べ、学習を深めることができました。続いて実施した一次救命処置では、ビデオ教材【ファミリー&フレンズ】と評価型成人心肺蘇生法シミュレータ【レサシアンQ CPR】を使用して、成人の心肺蘇生法について学びました。

シナリオ実習では、高機能成人シミュレータ【Simman3G】を使用して、患者状態の評価とその初期対応についてシミュレーションを実施しました。参加者の皆さんは、患者状態を観察・評価し、状態を正確に報告することに重点をおき研修をすすめていました。最後は、点滴静注シミュレータ【Vライン】を使用して、穿刺からラインの確保までの手技を繰り返し練習しました。

一日を通しての研修でしたが、参加者の皆さんは目的意識を持ち集中してそれぞれの項目に取り組んでいました。特に、現場での患者対応や手技に関する質問が積極的になされ、大変有意義な研修となりました。

